

平成29年度 ネット・ゼロ・エネルギー・ビル(ZEB)実証事業

採択事業の概要

1. 公募ごとの申請件数と採択件数

➤ 本事業では、一次公募18件、二次公募10件、計28件の実証事業を採択した。

公募	申請件数	採択件数	公募期間	交付決定日
一次公募	19件 [※]	18件 [※]	4月10日 ~ 5月26日	6月30日
二次公募	10件	10件	6月12日 ~ 7月14日	8月22日

※ 一次公募の申請件数と交付決定件数の差は、申請の取下げによるもの

2. 採択枠ごとの交付決定件数

➤ 本事業では、多様な建物用途・建築規模の実証事業を採択する事を目的として、前年度事業において実証事業の実績が無かった採択枠を優先的に採択候補とする公募を行った。採択枠ごとの交付決定件数は下表のとおり。

建物用途区分		延床面積								建物用途別件数合計
		延床面積2,000㎡以上				延床面積10,000㎡以上				
用途	用途説明	地域区分								
		1-2	3-4	5~7	8	1-2	3-4	5~7	8	
事務所等	事務所			4件	1件			1件		6
ホテル等	ホテル			1件						1
	旅館									
病院等	病院			2件				1件		3
	老人ホーム									10
	福祉ホーム		2件	7件	1件					
百貨店等	百貨店			1件						1
	マーケット			2件			1件	2件		5
学校等	小学校									0
	中学校									
	義務教育学校									
	高等学校									0
	大学									1
	高等専門学校			1件						
	専修学校									
各種学校										
集会所等	図書館等									0
	博物館									
	体育館等							(1件)		0
CLTを活用した建築物								1件 [※]		1
地域区分別件数合計		0	2	18	2	0	1	4	1	28

採択優先順位*
○
●
■

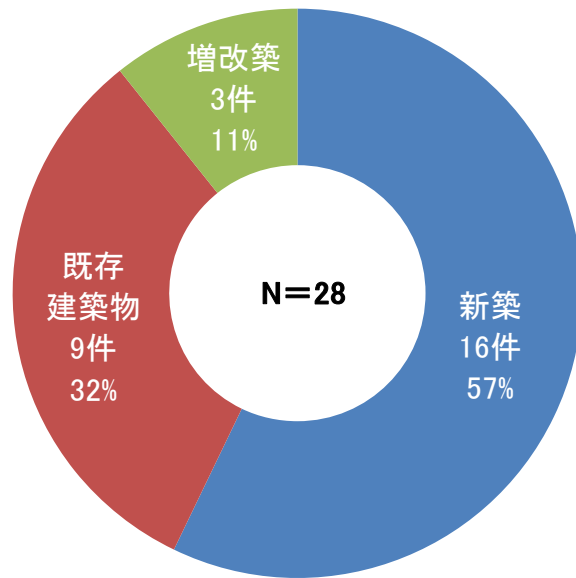
(二次公募時点)

※ 体育館等(空港ターミナルビル)

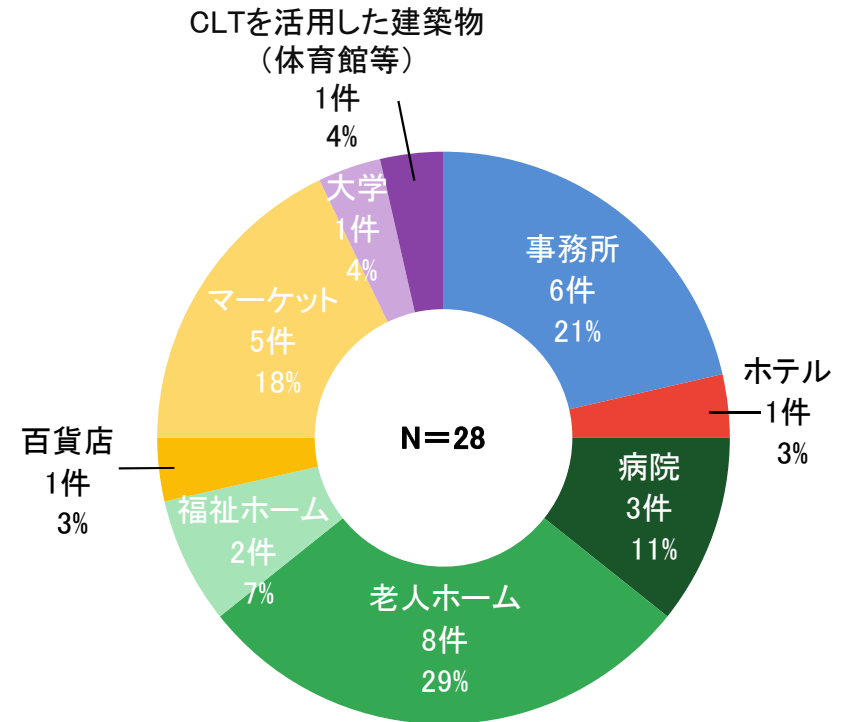
3. 採択事業の種別

- 採択事業28件の内訳は以下のとおり。
- 工事種別は、新築の建築物が全体の約6割を占める。
- 建物用途は、老人ホームが全体の約3割を占め、次いで事務所が2割強、マーケットが2割弱という割合になっている。
また、ZEB Readyとして初の学校等(大学)の申請があり、採択を行った。

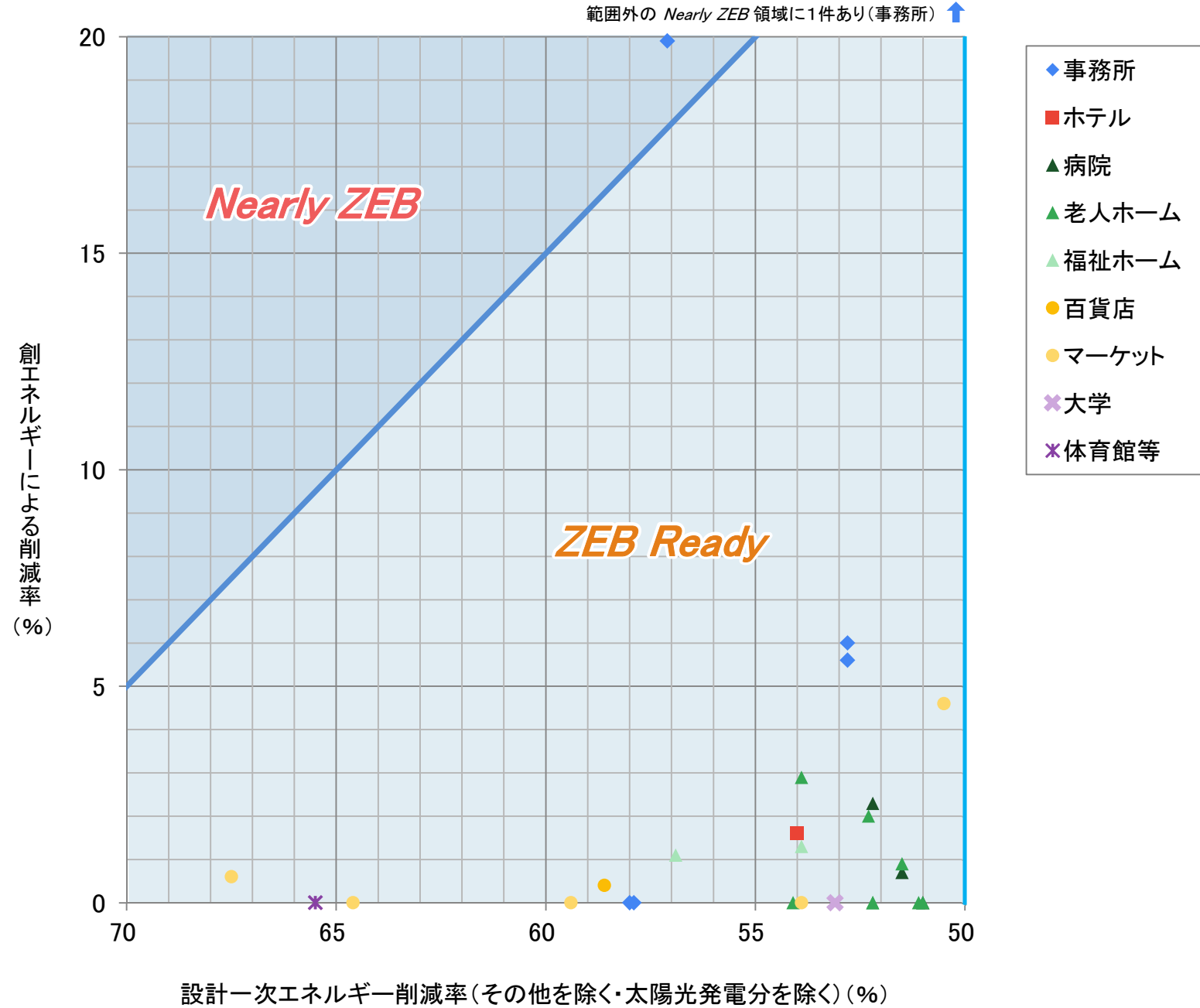
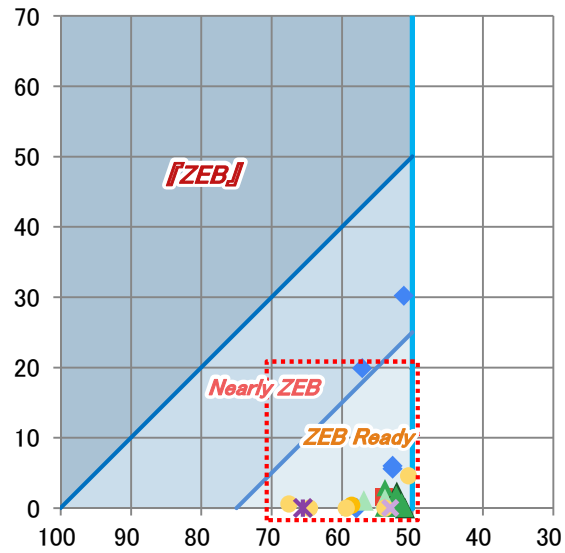
【工事種別】



【建物用途】

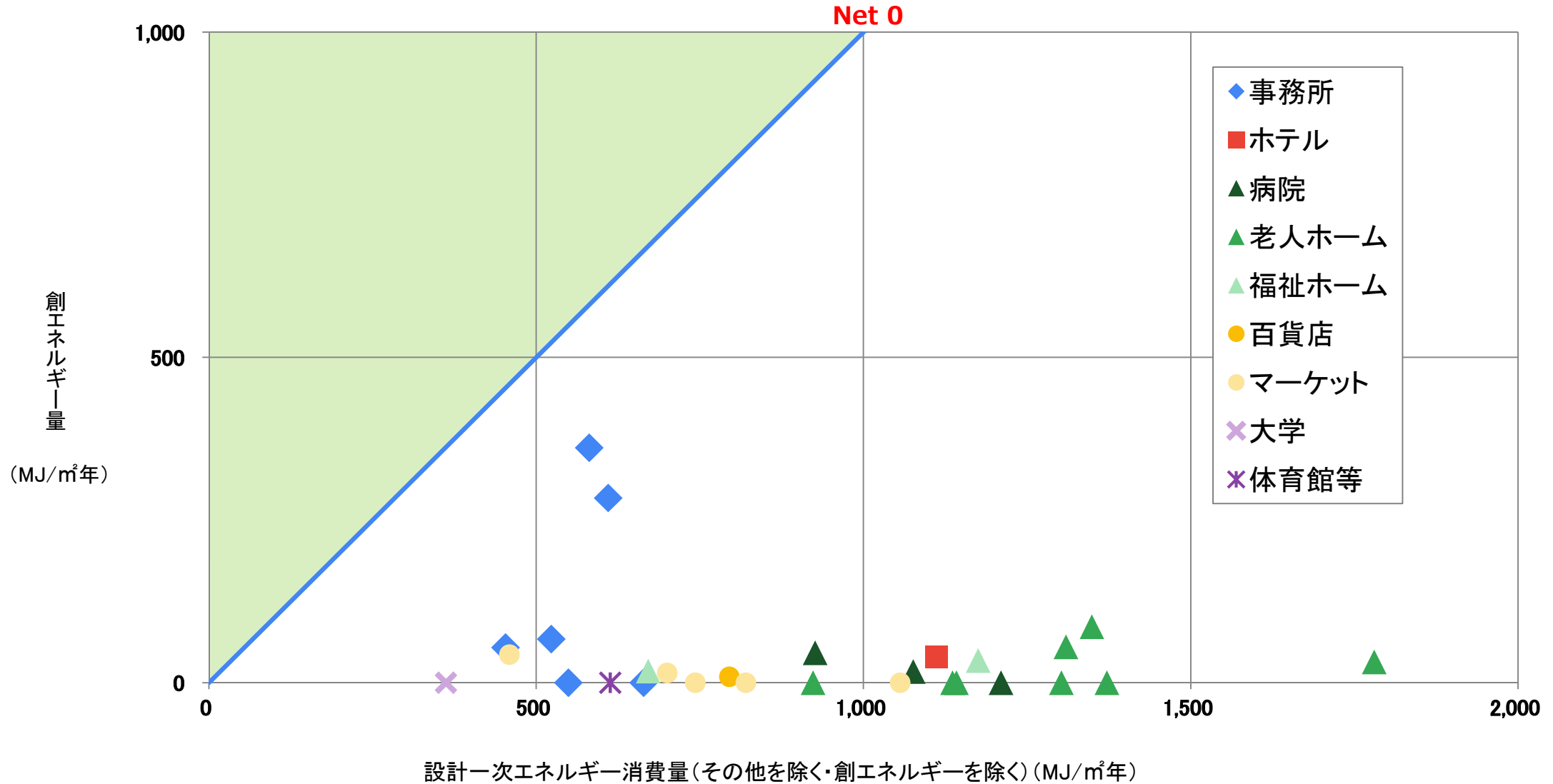


4. ZEB達成度



5-1. 設計一次エネルギー消費量(その他を除く)と創エネルギー量(単位面積当たり)

➤ 事務所の単位面積当たりの設計一次エネルギー消費量(その他を除く)は400~600(MJ/m²年)に、給湯負荷が大きい病院や老人・福祉ホームの単位面積当たりの設計一次エネルギー消費量(その他を除く)は900~1,400(MJ/m²年)にそれぞれ集まる傾向。



5-2. 【参考】設計一次エネルギー消費量(その他を含む)と創エネルギー量(単位面積当たり)

- 建物用途によって「その他負荷」の大きさが異なることから、単位面積当たりの設計一次エネルギー消費量(その他を含む)が大きく変わる傾向。
- マーケットは冷凍・冷蔵設備など「その他負荷」が大きいため、単位面積当たりの設計一次エネルギー消費量(その他を含む)が大きくなる傾向。

